

教育研究業績書記入要領

次の点に留意の上、記入すること。

1 「教育上の能力に関する事項」の記入について

(1) 「教育上の能力に関する事項」の欄

ア 「教育方法の実践例」について

優れた教育方法の実践例、授業における学習を促進する取り組み（フィールドワークの活用、問題発見型演習、双方向・多方向型授業、外国語による授業等）の主要なものを記入すること。

イ 「作成した教科書、教材」の例

作成した教科書、教材、講義で教科書として使用している著書、教材等の概要（後の「著書、学術論文」との重複も可。その場合、「(再掲)」と表記すること。

ウ 「教育上の能力に関する大学等の評価」

下記のいずれかに該当する評価がある場合に記入すること。

- ・ 採用決定の際等における評価内容
- ・ 各大学における自己点検・評価での評価結果
- ・ 学生による授業評価、教員による相互評価等の結果
- ・ 上記以外で学長、学部長、諸機関等が行った評価（但し、客観性をもったものに限る。）等

エ 「実務の経験を有する者についての特記事項」

下記のいずれかに該当するものがある場合に記入すること。

- ・ 学生指導、実習指導等についての取り組み、大学から受け入れた実習生等に対する指導、公開講座や社会教育講座における講師、シンポジウムにおける講演、職能団体（例えば、日本薬剤師センター等）の依頼による研修指導等の実績がある場合は記述すること。この場合、教育機関・対象者等を記入すること。
- ・ 訴訟・審判・監査・与信・企業提携・研究開発等の専門的な実務に関する教育・研修等の実績がある場合は記述すること。

オ その他

- ・ 大学教育改善に関する団体等の活動の概要
- ・ 教育実績に対する受賞歴等

※ 上記にとらわれず、積極的に記載すること

(2) 「職務上の実績に関する事項」の欄

ア 資格、免許

医師、看護師、教員等の資格で担当予定授業科目に関係するものを記述すること。

イ 特許等

特許、実用新案等で担当予定授業科目に関係するものを記述すること。

ウ 実務の経験を有する者についての特記事項

以下の職歴を参考にし、内容について具体的に記入すること。

○大学教員の場合

- ・ 大学における学生指導
- ・ 大学、学部運営に関する諸活動
- ・ 社会的活動

○幼小中高等学校教員の場合

- ・学校における優れた教科指導
- ・生徒指導等の方法
- ・生徒、校長、保護者等による評価
- ・社会的活動
- 教育委員会等関係者の場合
 - ・現職教員を対象とした研修・講座等の概要
 - ・教育委員会での職歴、職務内容
 - ・社会的活動
- 企業、官公庁等の研究者の場合
 - ・開発した新製品・製法、作物等の新品種などの概要
 - ・大学との共同研究による研究実績がある場合、その概要、成果、当該研究者の役割
 - ・社会的活動
- その他、企業・団体等関係者
 - ・国際援助・開発、先端技術、国際金融等高度に専門的な実務に従事した実績
 - ・社会的活動
- 情報技術者関係の場合
 - ・コンピュータに係る職務歴（職務上のコンピュータ活用法、ソフト・システム開発歴）
 - ・社会的活動
- マスコミ関係者の場合
 - ・執筆した記事の概要
 - ・作成した番組の概要
 - ・社会的活動
- 医師や看護師等医療技術者の場合
 - ・症例研究会での発表等の活動
 - ・社会的活動
- 福祉その他社会的活動の関係者の場合
 - ・参加した活動や団体の名称、活動内容・期間、本人の当該活動における地位
- スポーツ等実技関係者の場合
 - ・指導者としての経歴・実績・資格
 - ・社会的活動
- 芸術関係者の場合
 - ・作品の概要
 - ・社会的活動
- 博物館、美術館等関係者の場合
 - ・担当した展覧会の概要
 - ・執筆・監修した展覧会図録の概要・社会的活動
- エ その他以下に該当するものがある場合は、記載すること。
 職能団体からの実務家としての卓越性に関する評価・推薦、論文の引用実績等

(3)「教育上の能力に関する事項」及び「職務上の実績に関する事項」の「概要」欄には、それぞれの事項について200字程度記載すること。

2 「研究業績等に関する事項」の記入について

- (1) 書類の作成時において未発表の業績等は、「研究業績等に関する事項」へは、掲載が決定しているもののみ記入できる。その際、可能な限り掲載予定年月日を記載すること。
- (2) 「著書、学術論文等の名称」の項について
- ア 研究等に関連する主要な業績を、「(著書)」、「(学術論文)」、「(その他)」の項目に適切に区分し、各業績を発表順に通し番号を付して記入すること。
 - イ 「(著書)」については、書名を記入すること。
 - ウ 「(学術論文)」については、学術雑誌、学会機関紙、研究報告、紀要等に学術論文として発表したものの題名を記入すること。
学位論文については、その旨を明記すること。
 - エ 「(その他)」については、総説、学会抄録、依頼原稿、報告書、訳書、書評、辞典項目等にあつては当該記事のタイトルを、学会等での報告発表、座談会、討論等にあつては当該テーマを記入すること。学会等での発表については、その結果である抄録等の名称・発行者を明記すること。
また、単独発表・共同発表（口頭発表者・連名発表者の区別）討論者等の区別を明記すること。
- (3) 「単著・共著」の項には、当該著書等に記載された著作者が単独である場合には「単著」（翻訳にあつては、「単訳」、報告にあつては、「単独」）、著作者が複数いる場合には、監修、編集、編著、共著、部分執筆等の関わりによらず「共著」（翻訳にあつては、「共訳」、報告にあつては、「共同」）と記入すること。
- (4) 「発行又は発表の年月」の項には、当該著書等の発行又は発表の年月を上段に西暦のみ、下段に年号と月でそれぞれ記入すること（例：2022年（令和4年）6月）。
- (5) 「発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称」の項について
- ア 著書については、発行所と総頁数を記入すること。
 - イ 学術論文等については、発表雑誌等の名称（および発行所名を括弧内に記入）、巻・号、掲載ページ（例：P〇〇～P〇〇）等を明記すること。学位論文については、提出先大学名、分量（「A4△△枚」等）を明記すること。
 - ウ 報告発表等の場合には、学会大会名、開催場所等を明記すること。
- (6) 「概要」の項について
- ア 当該著書等の概要を200字程度で記入すること。
 - イ 当該著書等が共著の場合には、「概要」の冒頭に、編者がいる場合、「编者」と記入し、一文字空けて编者名を記入し、行を変えて「著者」と記入し、一文字空けて共著者全員の名前を当該著書等に記載された順に漏れなく記入した上で本人の名前に下線を付すこと（共著者が多数にわたる場合は主要な共著者の名前を記入したうえで、「他〇名」と末尾に記入すること）。
次に概要を記入すること。次に、行を変えて、「分担部分」と記入し、本人の担当部分の章、節、題名、掲載ページを記入すること。本人の担当部分の抽出に困難があるときは、その理由を記入すること（「〇〇のため、分担部分抽出不可能」と記載する）。

以上